

K-RELEASE VOL.222

企業局情報通信

静岡県企業局
 ● 電話 054-221-2153
 ● F A X 054-251-5381
 発行 令和4年11月25日

「牧之原萩間工業用地」基本協定を締結！！

10月28日(金)、企業局は、スズキ株式会社、牧之原市と「牧之原萩間工業用地」の造成事業に関する基本協定を締結しました。

この工業用地は、スズキ相良工場の拡張に向けたもので、カーボンニュートラルやCASE(ケース)に対応していくため、四輪の次世代モビリティの開発拠点として整備することを目的としています。今後は、企業局の「オーダーメイド方式」による造成事業に着手していきます。

企業局では、工業団地だけでなく、進出企業の意向に沿って設計や造成を進める「オーダーメイド方式」による用地造成も数多く手がけています。



左から杉本基久雄牧之原市長、鈴木俊宏スズキ株式会社社長、小野田裕之企業局長

＜牧之原市杉本市長のコメント＞

「当市の製造品出荷額は1兆400億円に上り、今回の拡張で更に伸び代があると確信している。スズキ、県企業局と市が一致団結して、早期完成を目指し邁進していきたい。」

＜スズキ株式会社鈴木社長のコメント＞

「100年に1度の大変革期。新技術の開発を加速させていかなければならない。今回取得する土地を最大限活用し、新しいモビリティの研究開発をしっかりとやっていきたい。」

＜企業局小野田局長のコメント＞

「静岡県の基幹産業である自動車産業を根底から支える基盤整備事業であり、経済波及効果も大変大きい。3者で協力し合い全力で取り組んでいく。」

造成事業の概要

区分	内容
所在地	牧之原市西萩間、東萩間 他 (スズキ相良工場 西側隣接地)
面積	約 47 ヘクタール
事業期間	協定締結から 10 年程度
概算事業費	約 140 億円 (造成後の設備費等は含まない)
用途	EV化、自動運転等の次世代モビリティの研究開発
役割	企業局……工業用地の造成 牧之原市…用地事務

位置図



令和4年度 企業局優良建設工事等表彰

企業局では、建設業における技術力の向上や適正な施工を促進するため、卓越した技術力を発揮して優れた成績を修めた建設業者や技術者を表彰しています。令和4年度は、令和3年度に完成した企業局発注工事の中から下の表中の9者を表彰しました。

企業局の事業は、建設業に従事される多くの方々の方で支えられています。今後も企業局の工事への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

令和4年度 企業局優良建設工事等表彰 受賞者一覧 (敬称略)

企業局長表彰	優良工事部門	木内・角丸特定建設工事共同企業体（静岡市駿河区・藤枝市）
	優良技術者部門	平野建設株式会社（磐田市） 鈴木 邦雄 氏
	安全工事部門	有限会社 タカミ建工（静岡市清水区）
	地域貢献部門	鈴与建設株式会社（静岡市清水区）
事務所長表彰 （東部）	優良工事部門	鈴与建設株式会社（静岡市清水区）
		平井工業株式会社（静岡市葵区）
事務所長表彰 （西部）	優良工事部門	株式会社 鈴木土建（牧之原市）
		株式会社 鈴恭組（磐田市）
	優良技術者部門	協立電機株式会社（静岡市駿河区） 栗田 強 氏

企業局長表彰 表彰式 令和4年10月11日（火）

<優良工事部門> 藤枝高田工業団地 地域振興整備事業 造成工事【施工者：木内・角丸JV】

<受賞理由> 自然環境への配慮、長期に及ぶ交通規制の計画、地元との調整、更には同時進行する道路・河川事業との工程調整など、多岐にわたり様々な創意工夫に取り組んで工事を実施した結果、引渡し時期の大幅な前倒し、そして、事業費の縮減を実現し総合的に他の模範となる工事でありました。



局長表彰(中央・右:木内・角丸JV)



受賞者と企業局幹部職員

※ 表彰式は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施した上、写真撮影時のみマスクを外し会話を控えて行いました。



東部事務所表彰式(10月18日)



西部事務所表彰式(10月19日)

水道技術研修、水道設備研修の実施

企業局では、水道事業における知識取得、理解促進をはかるため、技術職員、事務職員を問わず、経験年数の短い職員向けに研修を実施しています。

今般、10月13日に水道技術研修、10月21日に水道設備研修を実施しました。

水道技術研修

(目的) 災害や突発事故による水道施設等の漏水等に迅速的確に対処できるよう水道技術の基礎知識の取得

- ・水道用語、水の特性等の講義
- ・浄水処理行程の見学
- ・各種弁の操作・特性確認
- ・配管講習（漏水補修等・実技）

水道設備研修

(目的) 水道施設に設置されている多種多様な電気、機械設備についての基礎知識の取得及び実際の設備の稼働状況の確認

- ・取水施設、貯水施設等の役割と管理の講義
- ・ポンプ、弁類等の役割と維持管理の講義
- ・富士川浄水場内の機械、電気設備の見学

研修の様子



水道施設の種類等の講義



富士川浄水場の機械設備見学



各種弁の操作・特性確認



配管講習（漏水補修作業）

今後も水道事業の知識・技術の習得を推進し、安全・安心な水の安定供給に努めます。

水道事業の業務状況(令和4年10月25日現在)

10月の使用水量は、前年度同期比で、駿豆水道は90.5%と減少し、榛南水道は99.9%、遠州水道は100.2%と前年度並みで、全体では98.9%となっています。(単位: 千m³、%)

水道名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
駿豆	当該年度	100	3,000	21,400	741	5,830	27.2
	前年度同期	100	3,000	21,400	819	5,978	27.9
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	90.5	97.5	
榛南	当該年度	27	810	5,778	433	3,100	53.7
	前年度同期	27	810	5,778	433	3,151	54.5
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.9	98.4	
遠州	当該年度	292	8,763	62,509	4,972	35,277	56.4
	前年度同期	292	8,763	62,509	4,962	35,146	56.2
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.2	100.4	
合計	当該年度	419	12,573	89,687	6,146	44,207	49.3
	前年度同期	419	12,573	89,687	6,214	44,275	49.4
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	98.9	99.8	

工業用水道事業の業務状況(令和4年10月25日現在)

10月の使用水量は、前年度同期比で静清工水は104.6%、中遠工水は100.1%と増加し、柿田川工水は97.8%、ふじさん工水(富士川)は95.2%、ふじさん工水(東駿河湾)は98.1%、西遠工水は93.6%、湖西工水は94.9%と減少し、全体では98.2%となっています。(単位: 千m³、%)

工水名	基本水量(日量)		基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a
			10月分	累計	10月分	累計	累計
柿田川	当該年度	100	3,000	21,400	2,827	20,367	95.2
	前年度同期	100	3,000	21,400	2,891	20,688	96.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.8	98.4	
ふじさん (富士川)	当該年度	25	744	5,333	479	4,374	82.0
	前年度同期	27	808	5,795	503	4,343	74.9
	前年度同期比	92.0	92.0	92.0	95.2	100.7	
ふじさん (東駿河湾)	当該年度	301	9,022	65,294	7,099	51,025	78.1
	前年度同期	361	10,834	77,619	7,235	52,489	67.6
	前年度同期比	83.3	83.3	84.1	98.1	97.2	
静清	当該年度	50	1,514	10,672	1,032	7,789	73.0
	前年度同期	51	1,541	10,820	986	7,514	69.4
	前年度同期比	98.2	98.2	98.6	104.6	103.7	
中遠	当該年度	33	997	7,216	394	2,762	38.3
	前年度同期	34	1,018	7,277	393	2,899	39.8
	前年度同期比	98.0	98.0	99.2	100.1	95.3	
西遠	当該年度	30	900	6,317	604	4,232	67.0
	前年度同期	30	904	6,327	646	4,403	69.6
	前年度同期比	99.5	99.5	99.8	93.6	96.1	
湖西	当該年度	17	496	3,475	286	2,062	59.3
	前年度同期	17	496	3,475	302	2,143	61.7
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	94.9	96.2	
合計	当該年度	556	16,673	119,707	12,721	92,611	77.4
	前年度同期	620	18,601	132,713	12,956	94,479	71.2
	前年度同期比	89.7	89.6	90.2	98.2	98.0	